

## 丸亀市合併 10 周年記念・ 男女共同参画都市宣言 10 周年記念事業実行委員会

記念事業を実施するにあたり、ゆめネットワーク（男女共同参画を推進する市民団体でつくるネットワーク）の会員、かがわ男女共同参画推進員、企業の方や子育て中の女性などさまざまな分野の 10 名の方に実行委員として関わっていただきました。またそれぞれの活動母体を生かし、事業の周知や実施にご尽力いただきました。

- 第 1 回実行委員会 平成 27 年 5 月 25 日（月）
- 第 2 回実行委員会 平成 27 年 6 月 26 日（金）
- 第 3 回実行委員会 平成 27 年 8 月 17 日（月）
- 第 4 回実行委員会 平成 27 年 11 月 30 日（月）
- 第 5 回実行委員会 平成 27 年 12 月 20 日（日）※記念講演会当日

### 実行委員会の様子



### 丸亀市合併 10 周年記念・男女共同参画都市宣言 10 周年記念事業実行委員

所属など	名 前
ゆめネットワーク代表	岡本 恵子
ゆめネットワーク副代表	尾崎 洋子
かがわ男女共同参画推進員	杉尾 英美
かがわ男女共同参画推進員	遠城 寛子
かがわ男女共同参画推進員	三好 守
丸亀市企業・人権同和推進協議会会長	吉田 雅人
(株)パワーネット代表	谷渕 陽子
丸亀市飯綾商工会理事	香川 勝
丸亀市子ども会育成連絡協議会事務局	井門 裕子
日本農業新聞かがわ通信部記者	大口 年昭

事務局：丸亀市総務部人権課男女共同参画室

(敬称略)

## 実行委員へのアンケート結果

### 1. 記念事業に取り組む中で感じたこと、また苦労したこと

- ・実行委員として活動し、市内には様々な活動をしている方が居ることを知った。立場が違うことで考えている事も違う、とらえ方、視点なども違うということが大変勉強になった。
- ・参加するまでは、「男女共同参画」という言葉すら知らなかった。やはり何事においても参加してみないと違った世界は見えてこない。
- ・各事業について参加人数・参加者の年代に関心を持っていたが、参加者に若年層が少なかったと感じた。これからは、若い方の関心を寄せる取り組みが大切だと思う。
- ・頭では理解できていても実生活で自分の行動が伴っていないことも実感した。

### 2. 記念事業の前後で男女共同参画のまちづくりについて変わったと感じること、またこれから変えようと思うこと

- ・「男女共同参画」とはどういうものか。お年寄りにもなんとなくイメージができたと思う。市民の興味を引くキャンペーンは「食べもの」付きの企画。それができるコミュニティとも連携して活動を進めていかなければならない。
- ・企業の方々が男女共同参画、特に女性の労働力活用の策を模索していて、女性の就労に関する葛藤を理解したことは大きい。今後の男女共同参画政策、プラン策定にこの視点を生かし、企業の取り組みの推進を図らなければならないと実感した。
- ・労働力不足（特に若年者の不足）が今後においても続く状況にあって、いかに女性に活躍してもらうかが重要になってくる。実感としてはまだまだないため、地道な活動を続けていくしか今のところはないと思う。
- ・記念講演会のパネラー(事業所代表)の方の報告を聞いて、事業所の積極的な取り組みに感心さ

せられた。他の事業所でも利益追求だけでなく女性の職場環境の改善に取り組んで欲しい。

- ・女性が社会に出ても出産などで会社を休むとなれば、やはり男性社会となる。その対応が変わるよう、今後の男女共同参画社会が展開してほしい。

### 3. 10年後の丸亀市はこんなまちであってほしい、そのために委員または行政が取り組むべきこと

- ・生活の中心は自宅での生活である。自治会活動を男女共同参画推進の中心に置きたい。そして、子どもの教育にも力を入れ、学校で教わった事を自宅や地域の方が実践しているのを見れば、女性の社会進出、出産増にもつながると思う。
- ・「女性だから」ではなく、男性も一緒に子育てしやすい丸亀であると思うので、そんなまちづくりをする一員でありたい。
- ・10年後は夫婦共稼ぎを家族、地域、企業一体となって応援できている地域であってほしい。そのための啓蒙活動、知識習得活動、実践、浸透に効果的なものを打ちだしていけたらと思う。
- ・少子化が進む中、男性の子育てはもちろんだが、高齢者との2～3世代の交流も必要だ。女性が働ける環境、地域での受け皿づくりも必要だ。
- ・若い人が住みたくなるまちになり、子供がたくさん生まれて活気のある丸亀になればよいと思うが、そのためには雇用の場が必要となり、経済がよくならなければならない。産業振興対策が重要となってくる。
- ・何もかも揃ったまちなんかあり得ない。何か特徴のある(特化した)まちになればと思う。
- ・まちの「あるべき姿」は人それぞれ異なる。しかし超高齢と人口減少を迎えるのは確実であるため、その対応策を取るべき。社会に混在する矛盾や課題などに対する幅広い視点を持って「多様性を理解する」ことが大切だと思う。

## 丸亀市男女共同参画都市宣言文

### 丸亀市 男女共同参画都市宣言

すべての人は 男女の枠を超え その人らしく  
自立して生きるために 自らの意思で あらゆる  
分野に参画する機会を持ち 等しく責任を負います

市民一人ひとりの主体的で多様な生き方を尊重し  
男女がともに生き生きと暮らせるまちをめざして

ここに丸亀市は「男女共同参画都市」  
を宣言します

平成 17 年 12 月 1 日

平成 28 年 3 月 発行

丸亀市総務部人権課男女共同参画室

TEL 0877-24-8823

FAX 0877-23-4073

E-mail danjo@city.marugame.lg.jp